



池田 千鶴子

#### プロフィール

ミュージック・セラピスト(ハープ奏者)

国内外で「命の重さ・素晴らしさ」への思いをハープに託し、積極的な社会活動が続けているハープ奏者。東邦音楽大学でピアノを、武蔵野音楽大学でハープを学ぶ。またアメリカ・ミネソタアウグスブルグ・カレッジにてミュージックセラピー法を学ぶ。NYにて「NYテロ1年レクイエムコンサート」、ローマ：トレフォンターナ教会にて「平和と癒しの祈りのプログラム」での演奏。03年11月には「ASEAN 諸国友好 50 周年」記念企画カンボジアにてコンサートを行う。04年5月「ISS 80周年：世界会議」にてジュネーブ本部でのリサイタル。同年「佐世保児童殺傷事件」心的ケアを担当。

行く秋の佇まいに、彩りが今年の想いをひと葉に託して、冬プロローグです。たくさんの落ち葉がメッセージを残しました。そして今年も、その彩りや舞い散る景色を眼に…心に…することができました。このことは本当に感謝であり、幸福なことです。今…行く日々の、過ぎ去る大自然の音や香り、ささやきに耳や心を傾け、感じたりしている人っているのでしょうか?小さいころから"一番、大切なこと!"大自然の中にあって笑ったり、泣いたり、怒ったり、喜んだり、悲しんだりの繰り返しが「生きること」と常に言われながら歩んで来た私は、今もなお、いいえ…年齢を重ねるごとに"大自然"のメッセージや展開を感性で…肌で…感じながら日々を綴り重ねています。その中で"人生の小道具"のひとつである「Harp」に様々な想いや願いを託しつつ、一つ一つのメッセージを紡ぎ「音」から「音楽」へと表現して現在に至っています。この今までの永い道のりの間には、とても文字や言葉では言い表わす事のできない"出会い"と"現場"に遭遇し

て来ました。私にとって「ステージ」はいつも「現場」であり「今、その時」なのです! Harp 奏者である私とは、仕事上や社会上の事であって、常に私自身 " 掛け替えのない一個の命"をビジョンに日々生きています。人が人としてこの世に誕生した事を、一人の人間として、あるがままに、ラジカルに、人生の小道具を友とし 手段として歩みたい!歩んで行きたい! 伝えて行きたい! その思い一つです。

私たち大人も含めて、これからの時代を担って行く"子どもたち"にとって、今は恵まれ過ぎている社会とよく言われています。…が本当にそうでしょうか。物質的、金銭的には、そう言われる部分は確かにあるでしょう。では「こころ」に関しては恵まれているのでしょうか…?また、「生きる精神の小道具」に関しても恵まれているのでしょうか? "あなた自身、あるがままでいいんだよ!" と誰が教えたり言ったりしてくれるのでしょうか。そして誰が何かヒントや気づきを発信してくれるのでしょうか。あなた自身の人生の心の歩幅で…子どもたちの今の心の距離…毎日を見つめ、感じ、歩んで行っていいんだよとメッセージをして欲しいのです! いつも「競争」が友で、「比べる事」が共にあることであなた自身、子どもたちそれぞれが発揮できない…だから結局何も見えない! 社会の複雑さの中、周りの人たちとの足並みをそろえて歩むことも必要です。自己の中でバランス感覚や能力を育んだり、鍛えたりしていく事で "人生の状況判断"がつかめるのでは!と強く思います。

私は人生の小道具"Harp"と共に「NGO」活動もさせていただいています。多くの国へ出向きますが、たくさんの強烈な人生の心の糧を頂きます! カンボジアでは、地雷で身体の一部をなくした少年が、初めは生きて行く希望を持たず自殺を考えたそうです。でも、その思いをしっかりと受け止めてくれたのは弟や妹たちの寝顔であり、病弱な両親の姿であり、夕刻に輝く太陽と吹き過ぎてゆくひと風でした。誰の「言葉」でも「物」でもなかったのです! 今では不自由な身体ながらも"仕事"というささやかな小道具を得、何に対し文句を言うでもなく、むしろ命ある今を感謝し、貧しい日々でも明るく強く生きています!

本当の"優しさ"や"愛"は満たされた事や物、美しい事からのみ生まれ創られる物ではなく、苦しみや悲しみから生まれ育まれて行く事と信じます! 今や急展開の文明機器時代! それも時代にとっては必要な小道具でしょう。ただ、それらと同じ分だけの心の歩みと素朴な思いも絶対に置き忘れたり、見失ったりしてはならないのです! 自分自身や他の人々の心の音、メッセージを発信していく事は困難な時代かも知れませんが"困難"だと錯覚し、逆にその事に逃げているのでは? と感じます。今自分が置かれている立場が、もしかすると明日、あなたの置かれている立場になるかも知れない…その心目線や現実目線を日々の中で少しで良いから抱き感じて欲しいものです。改めて「教育」とか「教訓」と言う固く重い言葉のみで伝えたり、スローガンの的に表現しなくても大自然からも

また体験し、出会ったりする事からも…手段として伝えていける事が目の前にあるのです!

あなたにとって人生の小道具は何ですか。決して、それが物質的な物とは限りません!「ありがとう」「お疲れ様」「お陰様で」こんな言葉が小道具として生きる。…それが普通に、あるがままの想いとして伝わると強く思います! "今"と言う時, "今日"と言う日…たった一度の人生だから…。